

伝統音楽の魅力を探る

レクチャーコンサート Vol.9

尺八楽はおもしろい

— 尺八はこんなにも豊かで多彩だったのか —



日時 平成 25 年 11 月 15 日 (金)

午後6時開演

会場 京都市立府民ホールアルティ

主催 京都和文華の会

共催 真如苑

協力 立命館大学アート・リサーチセンター

公益社団法人 京都デザイン協会

NPO法人 京都文化企画室

本日はご来場いただきありがとうございます。

日本の伝統音楽を多くの方々知っていただき理解を深めていただくとうと、平成一八年に始めました「日本の伝統音楽を探る レクチャーコンサート」は第九回目を迎えることができました。

これも変わらずご支援いただきました真如苑様、お忙しい中をご協力いただきました構成の先生方、ご出演の皆様方、そしてなによりもご応募いただき、ご参加いただいた多くの観客の皆様のお蔭と深く感謝の意を表します。

現在まで開催してまいりました地歌、謡曲、琵琶楽、歌舞伎の下座音楽、文楽・義太夫節、常磐津節、箏曲、雅楽につづきまして、今回は尺八楽を取り上げました。

尺八は身近に見聞きする割にその歴史と楽曲は正確には知られていません。しかしその歴史は長く、楽器・楽曲の変遷と江戸期に完成された古典本曲、明治以降の箏・三味線との合奏により生み出された多くの名曲の数々があります。その歴史を経て現代は世界的に活躍の場を得ています。

本日は、その尺八楽の世界を構成・解説を担当される山川直治氏と各地から駆けつけていただいた斯界の気鋭の奏者の方々によって実り多い会となるものと確信をいたしております。

さて、発会当初から当会の代表をお努めいただきました、国際日本文化研究センターの早川聞多氏がライフワークともいえるべきお仕事のご都合で副代表にご就任されることになり、思いがけず私がその後を継がせていただくことになりました。

本会も来年は設立10年目迎える年となります。また、我が国文化における伝統文化の重要さは大きくなつてまいると存じます。

これからも、小さな会ではございますが仕事の重要さを思い、早川前代表の後を継いで、ますます励んでまいる所存でございます。どうか、これまでも増して皆様方のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

それでは間もなく開演です。どうぞ、最後までゆつくりとお楽しみください。

京和文華の会

代表 権藤芳一

尺八楽について

山川直治

海童道道曲・・・「古伝巢籠」

寄田真見乃

根笹派錦風流本曲「流し鈴慕」

善養寺 恵介

地歌・・・「末の契」松浦検校作曲

尺八 徳丸十盟

三絃 横山佳世子

都山流本曲・・・「峰の月」初代中尾都山作曲

永廣孝山

休 憩

琴古流本曲・・・「虚空靈慕」

徳丸十盟

明暗対山派本曲・「霧海籠」

酒井松道

現代曲・・・「詩曲Ⅰ」松村禎三作曲

尺八 善養寺 恵介

箏 片岡リサ